

「倫理」 シラバス

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
倫理	3	3	必修	国際人文科	

1. 科目概要および目標

国際化、情報化、科学技術の発展、少子高齢化の進展で社会の状況が大きく変化する中で21世紀を生きる人材を活かし、豊かな人間性をはぐくむとともに、一人ひとりの個性を生かしその能力を十分に伸ばす新しい時代への適応の在り方が問われている。そこで、21世紀は、テロや戦争など今尚、続いているためそこには、宗教や、人種、民族の違い、差別にも深くかかわっていることを認識し、文化の受容とグローバルな視野を取り入れることが今後の課題であり目標であると考えられよう。

2. 成績評価

基本的には、中間・期末テストなどの各100点で評価する。しかし、その他にも授業態度、レポート、ファイル、ノートの提出など普段の提出状況なども考慮に入れて評価する。

定期テスト	80	%	その他テスト等	10%	授業・提出物	10	%
-------	----	---	---------	-----	--------	----	---

3. 使用教科書・教材

- ・教科書 高等学校 改訂版 倫理 (第一学習社)
- ・資料集 最新図説 倫理 (浜島書店)
- ・ノート 改訂版 倫理ノート (第一学習社)

4. 授業の展開と形態

まずは、基本的な事項を、教科書から読み取り、ノートの穴埋めに重要な語句を入れて理解することから始まり、特に倫理という教科は、青年期から始まり、偉人の言葉、理論、宗教などさまざまなものが出てくるため、興味をもつことから始まる。それから現在の世界情勢について考えたり、社会問題を問うための一つのキー・ワードを得ることにもなる。

5. 学習方法

教科書、生い立ちを知るための重要な語句を知るための資料集、そして、教科書を把握するために倫理整理ノートを使用することで重要な部分を把握することができるであろう。また、ノートでの穴埋めをするための基本的事項が第一であるが、教師がセンター試験・私大に適応した問題を頭に入れて教えることも必要不可欠になってくると思われる。しかし、そこには、楽しく、単に暗記ではなく、理解することで力がついてくると思われる。

6. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際考慮すべき事項

重要な人物、そして、その人が言った言葉など、身近な生活とあわせながら理解する必要性を感じる。何らかのことについて考えるという姿勢をもち、現在、起こっている事柄、世界情勢、社会問題と照らし合わせることで、倫理的な問題も浮かび上がってくるであろう。しかし、実際には、授業は教科書を中心に進めていくため、医学的な倫理的問題、例えば、代理母、尊厳死、安楽死、臓器移植、そして、戦争、テロに見られるような宗教的、民族的問題まで発展できる授業づくりができれば、問題意識が芽生えてくると考えられる。単に倫理という科目は履修上、暗記科目としてとらえられるものではない。

(2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

高卒の一般常識、または公務員試験にも出てくるため必須な科目だといえる。また、センター試験での高得点を取れる可能性もあり、そして、私大では、その私大特有な試験内容のため傾向と対策を立てる必要が出てくると思われる。

様式2

年間授業計画

那覇西高等学校

月	章	節	単元	配時	マーク欄
4月	＜第1章＞ 青年期の課題と自己形成	1. よく生きることを求めて 2. 青年期の課題	オリエンテーション	1	/
			①人間とは何か ②青年期の思考と感情 ③青年期の人間関係 ④青年期の自己形成	1 1 1 1	
5月	＜第2章＞ 人間としての自覚	1. ギリシャの思想 2. キリスト教 3. イスラーム教 4. 仏教	①哲学の形成②ソクラテス③プラトン④アリストテレス⑤ギリシャ思想の展開	3	
			①ユダヤ教の世界②イエス③キリスト教の発展	3	
			①イスラーム ①インドの思想文化②ゴータマの教説③仏教思想の展開	1 3	
		5. 中国の思想	◎定期考査(中間) ①中国の思想文化②儒家の思想③道家の思想	3	
6月	＜第3章＞ 国際社会に生きる日本人としての自覚	1. 日本の風土と伝統 2. 外来思想の受容 3. 町人意識のめざめと庶民思想	①日本仏教の展開②日本儒学の展開	2	
			①義理と人情②国学の成立③庶民の思想 ④伝統思想の成熟	2	
		4. 西洋思想との出会い	①幕末の思想②明治の啓蒙思想③日本社会とキリスト教④近代的自我の確立⑤社会思想の展開⑥近代日本の思想課題	6	
			◎定期考査(期末)		
7月	＜第4章＞ 現代を生きる人間の倫理	1. 人間の尊厳	①ルネサンスと宗教改革 ②人間性の探究	2 1	
9月	＜第4章＞ 現代を生きる人間の倫理	2. 近代の科学革命と自然観	①近代の科学革命 ②経験論と合理論 ③近代科学と社会の進歩	1 2 1	
10月			①社会契約の思想 ②人格の尊厳と自由ーカント ③人倫と自由の実現ーヘーゲル ④功利主義の思想	1 1 1 1	
			◎定期考査(中間)		
11月		4. 人間性の回復と主体性の確立	①社会主義の思想 ②実存主義の思想 ③プラグマティズムの思想	1 2 1	
			①心の深層と無意識 ②生の哲学と現象学 ③近代的理性と言語 ④正義と社会 ⑤他者と偏見	1 1 1 1 1	
			◎定期考査(期末)		
12月		6. 生命への畏敬と社会参加	①生命への畏敬と社会参加	3	

1月	<第5章> 現代の課題 と倫理	1. 生命の問題と倫理課題	①生殖医療と遺伝子操作②脳死臓器移植と再生医療③自己決定の尊重と末期医療	1		
		2. 環境の問題と倫理課題	①有限な地球環境②生物多様性と自然との共生③予防原則と世代間倫理	1		
		3. 家族・地域社会と倫理課題	①少子化と男女共同参画社会②高齢化と地域社会	1		
		4. 情報社会と倫理課題	①情報の洪水と情報リテラシー②ネットワーク社会と情報モラル	1		
		◎定期考査(期末)				
2月		5. 宗教・文化と倫理課題	①宗教信仰への理解と現代世界②異文化理解と多文化共生	1		
		6. 国際平和と人類の福祉	①地球市民として②平和な世界に向けて	1		

様式3

評価の観点、内容及び評価方法

学期	評価の観点	内 容	評 価 方 法
1	関心・意欲・態度	深い内省に基づいた自分自身との対話とともに、先哲の思想にも耳を傾け、理解しようとする態度がある。	定期テストや提出物による評価
	思 考 ・ 判 断	先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めようとしている。	定期テストや提出物による評価
	技 能 ・ 表 現	図版・写真の伝える意図を十分に理解するとともに、自らの考えをまとめることができる。	定期テストや提出物による評価
	知 識 ・ 理 解	生涯において青年期がもつ意義や先哲の思想を理解している。	定期テストや提出物による評価
定期テスト80% その他テスト等10% 授業・提出物10%			
2	関心・意欲・態度	21世紀に生きる者としてのあるべき人間像や社会のあり方を自ら考える問題意識を培う。	定期テストや提出物による評価
	思 考 ・ 判 断	各思想家が提言した倫理について、現在の人間観や社会状況からどのように評価できるのかを考察する。	定期テストや提出物による評価
	技 能 ・ 表 現	図版・写真の伝える意図を十分に理解するとともに、自らの考えをまとめることができる。	定期テストや提出物による評価
	知 識 ・ 理 解	近代思想がどのように展開され、各思想家がどのような倫理を提言したのかを理解している。	定期テストや提出物による評価
定期テスト80% その他テスト等10% 授業・提出物10%			
3	関心・意欲・態度	現代社会の課題解決に向けて深く考え、現代に生きる姿勢を身につけている。	定期テストや提出物による評価
	思 考 ・ 判 断	現代に生きる人間の倫理的な課題について思索を深めることができる。	定期テストや提出物による評価
	技 能 ・ 表 現	簡単なレポートを書いたり、プレゼンテーションなどができる。	定期テストや提出物による評価
	知 識 ・ 理 解	現代社会の特質への理解を深めるとともに、人間と社会との関わりについて考えることができる。	定期テストや提出物による評価
定期テスト80% その他テスト等10% 授業・提出物10%			

